



東京とどの実

北海道廳野付牛中学校
北海道廳立北見中学校
北海道北見高等学校
北海道北見北斗高等学校

〈発行〉
東京とどの実会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-11
湯島ハイタウンA-207
<http://www.tokyo-todononomikai.com>

Mail y-maeda-go@mua.biglobe.ne.jp
Mobile 090-8874-5239



桂名誉会長（二十四期）

「旭日小綬章」受賞

東京とどの実会名誉会長桂教夫氏（24期）が、昨年「旭日小綬章」を受賞しました。東京都商工会連合会会長として島しょも含めた三五〇〇〇社に及ぶ東京都の中小企業振興と支援に長年尽力された功績によるものです。

武藏野の面影が残る国立市にある株式会社カンテックに伺いました。83歳となる現在も代表取締役社長として活躍されている桂名誉会長が昭和42年に創業した同社は、漢字情報処理サービスを行う会社として、日本語入力のパイオニアとして高品質の

データ作成、各種情報処理サービスにおいて高い評価を得ています。また、経済活動にも力を注ぎ、東京都商工会連合会の会長を14年間務め、現在名譽会長、合わせて東京都商工政治連盟会長も歴任されています。

日本は科学技術立国とおっしゃる桂名誉会長。ご自身のベースである東京・多摩地区は、26市、3町、1村に約四二〇万の人口を擁し、自然が豊かで、土地も十分という環境の中にナノテク、ハイテク等先端技術を持つ企業が集中していて、日本で一番発信する地区であり、ポテンシャルが高い地域とのことです。さらに、

が乗り入れ、おおいに地域振興が期待できるとのことでした。
株式会社カンテックは北見にも支店があり、北見工業大学との産学連携で債権ポートフォリオ制御装置の特許を取得し、現在85人の社員が勤務しているそうです。あと、3年位で三〇〇人規模にしたいとのことで故郷の地域振興と雇用促進にも一役かっていらっしゃいます。

1

この地区には70もの大学があり、半分以上が理工系の学部を持ち、企業からの相談を受けるところもでてきているのだそうです。また、地区内にある米軍横田基地にも話が及び、3.5kmの滑走路の軍民共用が可能になれば、アメリカからビジネスジェット

終りに、座右の銘をうかがいました。「志在千里」志のある人は年をとつてもはやる心を抑えられないという意味で、志を大きく持つこと。志のない人間はいけない。但し、金銭欲、名譽欲、食欲も含めて大欲は身を滅ぼす。小欲こそ長生きの秘訣であるとのことです。そして、人生最大の宝は友であるとお話を締めくくられました。

出会いに感謝

前北見北斗高等学校長 平塚 幸男

私が着任した平成二十四年度は、本校創立九十周年の年でした。記念事業の成功に向けて、東京とどの実会の皆様に直接お会いしてお願いをしなければと思い、集いに参加させて頂きました。翌年には、周年事業に協力いただいたことへのお礼や学校の近況報告のためにお伺いし、結局二年続けて出席させて頂きました。

初めて参加した懇親会での挨拶では、伝統あるとどに実会の会員の皆様を前にして、ずいぶん緊張していることを覚えています。しかし、懇親会に入つて、思い出話や近況報告など私も皆様の輪の中で歓談ができ、大変リラックスできましたと感じました。二度の参加によつて多くの同窓会の皆様とお会いして、それぞれの時代に過ぎた濃密な高校時代の想いをお聞きしたり、母校に対する熱い愛情を感じることができ、大変嬉しく思いました。また、皆様の母校への思いが、積み重なつて、現在の生徒達にも引

き継がれていることをあらためて実感した日でもありました。特に、「今日の日はさようなら」の全員合唱には、いつまでも旧交を温め、この集いが長く続けと言つ皆さんの一になつた思いが伝わつてきて大変感激いたしました。

さらに、参加した二年間ともに、私と同期にあたる昭和四十七年卒の皆さんには、二次会三次会に誘つて頂きました。同年代の皆様と語り合つたりカラオケで歌つたりする中で、いつの間にか、私もとどの実会の会員のような感覚になり楽しい一時となりました。

校歌の一節にある「集えりこゝに君や我」のごとく、多くの同窓会の方々が集う場として、東京とどの実会がますます発展されますことを祈りしています。私は、退職して、北見北斗高校を離れましたが、皆様と同じく北斗のことが大好きですし、これからも北見北斗の応援団として過ごしていくつもりです。



今年の散策案内
「皇居東御苑から市ヶ谷まで」
—初夏の都心散策—



皇居東側にある特別史跡「皇居東御苑」は江戸城のあつたところで、皇室行事に支障が無い限り一般公開されています。江戸城本丸・二の丸・三の丸跡地には緑豊かな雑木林や日本庭園、江戸城遺構の百人番所や同心番所、忠臣蔵で有名な「松の廊下跡碑」などがあり、各都道府県を代表する木が植樹されています。北海道を代表する樹木を訪ねてみましょう。東御苑の後は北の丸公園、靖国神社を通り、会場の市ヶ谷まで散策します。会場到着後は更衣室とシャワー室を利用することができます。

第63回 東京どどの実の集い

第47期 生駒 篤

「初夏」という言葉がぴたりくるようなカラッと晴れた6月初旬の土曜日。

都心から電車で1時間足らずでも緑あふれる山のふものせいか、日差しはあっても、真夏の「焼けつくような」強烈さはありません。ケーブルカー清滝駅前11時、「どどの実の旗」のもとに、今年の参加者12名が集まりました。

数年前、「ミシユラン・ガイド」の旅行ガイド版で、「三ツ星」に選ばれてから、観光客が爆発的に増え、土日ともなれば朝から駅は大混雑です。ケーブルカーを使えば簡単に登っている人も多いのですが、西方向へは標高1000m余りの縦走路が伸びていて本格的な登山のできる山

なのです。「低山だが、山は山。甘く見てはいけない」ことを念押しして、まずケーブルカーに搭乗しました。

海拔201mの清滝駅から海拔427mの高尾山駅までの標高差271mを6分足らずで登ります。最大傾斜31度18分はケーブルカーの線路としては日本一の急勾配だそうです。高尾山駅まで来ると、心なしか空気がひんやりとしています。高尾山のふものに住み、月に数回登っているという15期の今井さん（御年91歳）を先頭に最も一般的な「1号路」を歩きました。歩き始めて直ぐの展望台からはかすかに「スカイツリー」を遠望することができます。サル園、野草園の脇を通り抜け、巨大な「タコ杉」の周りの遊歩道には



参拝者であふれる薬王院を過ぎると、道はやや狭く、傾斜が急になり、「登山」の雰囲気が出てきたな、と思つたところで標高599mの山頂に到着しました。広い山頂にはビジターセンターや売店が並び、大勢の人でごった返しています。山頂南側からは丹沢山塊や富士山が眺められます。

お決まりの記念写真の後、下山は今井大先輩の勧めで「4号路」を歩くことにしました。高尾山の散策路は主なもので7つあり、「4号路」はその中で別名「森と動物」とも、「吊り橋コース」とも呼ばれています。北斜面を巻いていくこのコースでは



2013/6/8 高尾ビオセンター



結構良い汗をかいていました。
薬王院は正式には、高尾山薬王院有喜寺といい、真言宗智山派の大本山で、成田山新勝寺、川崎大師平間寺とともに、関東における三大本山に一寺に数えられる名刹です。

参拝者であふれる薬王院を過ぎると、道はやや狭く、傾斜が急になり、「登山」の雰囲気が出てきたな、と思つたところで標高599mの山頂に到着しました。広い山頂にはビジターセンターや売店が並び、大勢の人でごった返しています。山頂南側からは丹沢山塊や富士山が眺められます。

お決まりの記念写真の後、下山は今井大先輩の勧めで「4号路」を歩くことにしました。高尾山の散策路は主なもので7つあり、「4号路」はその中で別名「森と動物」とも、「吊り橋コース」とも呼ばれています。北斜面を巻いていくこのコースでは

ケーブルカーで下界に下りました。

それにもしても最後まで息が乱れず、足取りが一番しつかりしていたのは最年長の今井さんです。大先輩には「敬服」の一言に尽きます。我々をリードしていただき、有難うございました！

各期大集合



24期以前



26～27期



28～32期



33～36期



37期



38期



39期



40期



41期



43期



44～45期



47～49期



53～57期

第63回「東京とどの実会」

2013年6月8日(土) 於／中野サンプラザ



41期吉村さんが乾杯の音頭



司会の湯本さん、立崎さん



長谷川さんのリードで校歌斎唱



前田幹事長の決算報告



47期生駒さんの散策報告

第63回東京とどの実会の集いが 行われました。

第63回東京とどの実会総会及び懇親会は6月8日(土)に中野サンプラザで午後5時から開催されました。今年度の当番である司会の湯本正行さん(45期)と立崎幸子さん(55期)の開会宣言で始まった総会は、長谷川徳二さん(38期)のリードによる校歌斎唱、小山内清孝会長(26期)の挨拶の後、前田良三幹事長(40期)による決算報告が行われ、満場一致で承認され、終了いたしました。吉村秀幸さん(41期)の乾杯の音頭で始まった懇親会は、ご来賓の北見北斗高等学校平塚幸男校長先生並びに渡辺和勇との実会会長(26期)からご挨拶をいただき、終始和やかな語らいの場となりました。恒例となった総会前の今年の散策報告では、コースとなった高尾山にチャレンジしたガイド役の生駒篤副幹事長(47期)と11人の参加者が壇上に上がり、ミシュランで紹介されて以来、東京の有名な観光地となった山の魅力を熱く語りました。各期の写真撮影と全員合唱の「今日の日はさようなら」の後、吉見じゅり副幹事長(56期)の中締めで、来年を期して散会となりました。参加の皆さんには広川正三幹事(42期)に作成ご尽力いただきました昨年1月5日に花園ラグビー場で行われた「全国高校ラグビー花園開催50周年記念試合・50年ぶりの決勝・北見北斗高校対天理高校」の試合を映したDVDをお持ち帰りいただきました。



挨拶をする小山内会長



渡辺会長のご挨拶



平塚校長先生のご挨拶



楽しく歓談



「今日の日はさようなら」を全員で合唱



中締めは 56期吉見さん

およせいただいた近況かく

第38期 小野 邦英

卒業50年

『絆』を深めた集い

(2枚)。次ページ「歴史」の6枚は佐藤初代校長像やラグビー部創立60周年記念碑、そして38期有志の記念植

て。いかにも歴史の重みを感じそ



私たち38期生は昨年3月に卒業50年を迎えた。同年秋、「50周年記念同期会」を故郷・北見で開催しました。同記念の集いでは恩師の小池春雄、平田栄次、広崎実、蓑口一光各先生を迎えて、百二十五人の同期生が参加(38期生は8クラス編成で四百二十二人)。その際、配布された葉がとても力作で、実行委員長はじめ企画立案者のご苦労を共有する意味からも同実行委員長の了解を得て、以下写真を主にご報告します。

二〇一四(平成26)年6月、東京とどの実会総会が開催されますことは会員の一人として大変喜ばしいことと心からお慶び申し上げますとともに、今年発行の会報に投稿の機会を与えて下さり、ありがとうございます。

私たち38期生は昨年3月に卒業50

樹(ノムラモミジ)。他に温根湯ホテルでの全員集合写真、寄宿舎跡地記念板、商業科の沿革石碑があります。

また、私達は手作り文集「ひとつ」とを新たな出会いをめざして作つてきました。一九九三年に「卒業30周年記念」として産声を上げ、その後「続ひとこと」「卒業40周年記念文集」「卒業45周年記念文集」を作成。昨年は完成。同文集(集大成)には恩師11人、大先輩の吉見一郎様、宮井国夫様、同期から80人を超える投稿によつて明日につながる糧として、大きな『絆』を深めました。



38期卒業50周年記念同期会の葉と手づくり文集「ひとつ」



商業科の沿革石碑



寄宿舎跡地記念板



ラグビー部創立60周年記念碑

41期生通信

47期はめでたく還暦

団塊の世代の我々41期生も、卒業してから間もなく半世紀を迎える年齢になりました。東京とどの実会に参加し、親交を深めております。

2月2日、少し遅めの「良い（41期）友の会」新年会を新宿にて開催しました。10名の参加があり近況報告など、次会はおきまりのカラオケで締めくくりました。

5月25日には「41期同期会」を銀座にて開催します。東京とどの実会に参加されてない方々とお会い出来るのを楽しみにしております。多数の参加を期待します。

同期の小櫻くんが「北のかほり」、「同窓会」を作詞作曲されました。

6月21日開催の第64回東京とどの実会総会で41期生がこの曲を歌う事となりました。昨年7月から数回メンバーが集まり練習を重ねてきました。皆様に素晴らしい歌をお聴かせいたしました。ご期待下さい。



なにかにつけ集う47期



有志に時々は北見や札幌からの参加者を迎えて、1年に1回の1泊旅行、新年会、暑気払いと集まり、旧交を温めています。北は函館から南は静岡あたりまで、毎年趣向を凝らした旅程を組んで出かけますが、昨年は伊豆大島の椿まつりに出かけました。あの大雨災害の前でしたので、ニューヨークあたりまで、毎年趣向を凝らした旅程を組んで出かけますが、昨年は伊豆大島の椿まつりに出かけました。

図書紹介

『越し方の記録』

辰野 清隆著

東京とどの実会22期の辰野清隆氏が表題の本を昨平成25年出版されました。

著者が北見中学卒業後上京し、東京工業大学専攻科建築科に学びながら、パリ万博日本館を設計した坂倉準三建築設計事務所で建築設計の実務に携わった。三二歳で独立し辰野清隆建築事務所を設立した。独立後、横浜市立大学病院などの設計を手がけた。その業績の成果と、仕事などを通して知り合った多くの人々との交友記録と豊富な写真集です。

著者が生きてきた世代は戦争と敗戦、復興と成長との本当に変動の世の中でじた。

著者が建築設計とともに郷土北見のため、又北海道のために尽くしてきた情熱には驚かされます。殊に交友の中に池波正太郎、尾上梅幸、道場六三郎など名前

程に欠かせないのは「体験学習」。見る、食べるだけでなく、陶芸、絵画、トントンボ玉、昨年は和菓子作りに挑戦しました。高校時代のあの日に戻って、作品の出来ばえをあれこれ批評するのも楽しいひと時です。

昨年、47期は還暦に到達しました。

今まで土日だった1泊旅行が平日になり、旅費が安上がりになると思いつや、最近はあと5年は現役を続ければなくてはいけないらしいです。

同期の皆さん、もう少し働いて、5年後には1泊といわず、また国内といわず、海外旅行にでも出かけましょうか。



は知つていてもなかなかお目にかかるない人たちとのお付き合いの幅の広さには羨望すらあります。

私も辰野さんに数年遅れて上京し、夏冬の休みには帰省していました。青函連絡船のあの何とも言えない船の臭いと音が今でも思い出します。そして、台風で沈没し函館湾内に赤い船腹を見せていました。洞爺丸の姿は今も目に焼き付いています。著者と同時代を生きた私どもも、又現代に生きている若い諸氏も、それぞれの生き方は違っていると思いますがこの本を挿んでそれぞれの暮らし方の想いにかられる一冊です。

東京とどの実会

●会員数 1,478人 2013.12.31 現在

会費納入数 311人 2013 年度

●総会出席者数

2012年 97人 中野サンプラザ

2013年 99人 中野サンプラザ

平成 24 度会計報告書

自 24年4月1日

至 25年3月31日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	1,027,385	会合費	53,678
年会費収入	680,000	印刷費	185,220
総会費収入	659,000	消耗品費	27,170
寄付金収入	123,000	通信交通費	186,810
預金利息	192	支払手数料	33,590
		総会費	659,862
		広告宣伝費	50,000
		次期繰越金	1,293,247
合計	2,489,577	合計	2,489,577



母校の現在の姿

東京とどの実会役員

(2012~13年度)

顧問	監査	会計	幹事長	副幹事長	会長	名誉会長
27期	34期	44期	57期	56期	53期	47期
宮馬	金森	角論	余語	吉見	渡辺	生駒
国正	利通	直樹	諭	篤	由紀子	岡田
孝	利通	じゅり	じゅり	じゅり	じゅり	前田
						伊藤
						小野
						邦英
						桂清孝
						教夫
						小山内
						英二
						桂清孝
						桂教夫

46年卒	44年卒	42年卒	42年卒	38年卒	33年卒	28年卒	23年卒	19年卒	11年卒	物故者一覧
敬称略	得地	木村	松田	岩田	伊藤	林	渡部	豊原	永井	沼崎
(一)	ひろみ	省司	重幸	幸子	照昭	健司	要	洋	隆一	与一
内は旧姓	(渡辺)	（鎌倉）								ご冥福をお祈りいたします。

幹事	顧問
50期	50期
50期	46期
46期	45期
45期	44期
44期	43期
43期	42期
42期	41期
41期	41期
41期	40期
40期	40期
40期	39期
39期	39期
39期	37期
37期	37期
33期	33期
村上	田上
田上	松田
松田	池上
池上	井上
井上	河野
河野	西垣内
西垣内	広川
広川	松浦
松浦	吉村
吉村	長谷川
長谷川	石渡
石渡	渡部
渡部	山田
山田	杉本
杉本	横山
横山	半田
半田	護公三
護公三	勝征
勝征	照市
照市	勝
勝	俊弘
俊弘	知子
知子	義則
義則	宏幸
宏幸	秀幸
秀幸	正三
正三	博志
博志	寛好
寛好	美真知子
美真知子	順治
順治	義則
義則	与一

編集後記

若い同窓生はフェイスブック、ラインやミクシィなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)で同期や旧級友と日々簡単に交信できています。

この様なインターネット世代に従来の同窓会組織がその魅力をいかに発信していくかを考える日々です。

今年の総会は交通の便のよい都心で開催されます。若い世代の同窓生を呼ぶうとのことで、大学生の参加費は無料にしました。お知り合いの大学生がいらっしゃる方は声をかけてください。

会報を8頁にしました。写真もたくさん掲載されていますので、なつかしい顔を見つけてください。

(H・I)

苦い思い出の一品



安藤美紀夫先生の
不肖の教え子の通知箇